

[トップ](#)[政策](#)[ニュース](#)[裁判](#)[ご支援](#)[お問い合わせ](#)[X \(旧Twitter\)](#)[YouTube](#)

政策

[← 目次に戻る](#)[トップへ戻る](#)[← 前の政策 \(記者会見資料\)](#)[次の政策](#) →

男女共同参画の縮小

数合わせや枠をやめ、本人の意思と能力を尊重する実質的な平等へ舵を切ります。

具体策

- 男女比目標の廃止を進め、女性枠を導入することはありません。
- 職種に不要な能力を課さないという方針のもと、個人の能力を発揮できる環境を作ります。
- 啓発物、研修、広報は効果を検証した上で縮小し、男女共同参画センターは中立・開放で利活用を重視します。

理由

- 男女共同参画は時代遅れと考えます。今は女子がお茶くみをするような時代ではありません。自己目的化し、男女共同参画の行き過ぎは、男女の性差を無視し、逆に個人の選択権を奪っていると考えます。
- 必要なのは性別等に関係なく個人が能力を発揮できる環境づくりであり、数合わせではありません。
- 男女共同参画を推進しているというアリバイ作りのような啓発物等の作成は不要なコストであると考えます。

[← 前の政策 \(記者会見資料\)](#)[次の政策](#) →